

< EasyReport10 アクセス DB→SQL サーバー展開手順 >

EasyReport10 のインストールフォルダに ERData.accdb→SQLServer.exe をコピーします。

ERData.accdb→SQLServer.exe を実行すると以下の画面が表示されます。

ERData.accdb->SQLServer

展開先のSQLサーバーにERDataデータベースを作成しておきます。
データは空の状態にしておきます。

展開先SQLサーバー

SOURCE SQLSERVER

USER ID ER10

PASSWORD ER10

DATABASE ERData

SQLデータクリア

SQLサーバーへ展開するERData.accdbを指定します。

参照

データ量によっては、かなり時間がかかります。

展開実行

END

展開先の SQL サーバーの情報を設定します。

あらかじめ SQL サーバーに ERData は作成しておいて下さい。

* EasyReport10 用 SQL テーブル作成手順.pdf 参照

SQL サーバーにデータを展開する EasyReport10 のアクセス DB を指定し、
展開実行ボタンを押下します。

SQLサーバー展開

日報データ

レコード展開総数 = 688702

残りレコード数 = 684483

キャンセル

展開を実行すると上画面が表示され、展開状況が表示されます。

日報->月報->年報の順で展開されます。

展開が完了すると以下の画面が表示されます。

確認

SQLサーバーへの展開が完了しました。

OK